

令和7年度秋田県放課後児童支援員等認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

＜県南会場＞

科目 ①放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容

- ◆ 放課後児童クラブの設置は、国や市町村が定めた基準に沿って行われているのが理解できました。留守家庭の小学生が利用できる子どもの居場所として大切な場所だと感じました。秋田県は少子化が進んでいるのに、女性の就業率や核家族化が進んでいるために、利用児童数が増えており、放課後児童クラブの必要性はとても高いものだと思いました。
- ◆ 今回の研修を受講し、放課後児童クラブの設置運営基準を学ぶことができた。家庭や地域との連携を大事にし、子ども一人ひとりの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう児童の自主性、社会性、基本的生活習慣の確立等を図りながら、児童の健全な育成支援を行うことが重要となる。この支援の目的を理解し、児童と保護者が安心して利用できるよう、これからも学んだことを活かした支援をしていきたい。
- ◆ この研修では支援員としての役割を改めて知ることができ、また制度や法律に触ることで職員間での意識や専門性を共通させる必要性を感じた。自分たちに求められていることが今までよりも明確になったことで、児童のために安心して遊べる環境作りをしたいと思う。そして、社会の変化と共に変わっていくニーズに対応し保護者の方へのサポートもしていくよう、支援員としての知識を深めていきたい。
- ◆ 設置根拠、目的にある「適切な遊び及び生活の場を与える」の部分について、長期休み含め子どもたちの宿題について口出してしまいそうな時があるが、あくまでも放課後児童クラブは学習より遊びを重視することを忘れずにいたい。また、少子化で子どもの数は減っているが、利用希望者は増えているということで、需要はかなりあると再認識した。保護者が安心して子どもを預けられる場所作りを今後も意識していきたい。
- ◆ 少子化が進む一方で、核家族化、両親の就労等、社会的背景により放課後児童クラブのニーズは年々増えてきている現状を痛感しました。放課後児童クラブの目的は子どもの健全育成支援であり、特に「適切な遊び及び生活の場を与える」ことが支援員に求められる最も重要な役割であると改めて確認させられました。保護者に代わって子どもたちの育成を支援するためには、人数に見合った場所や広さ、整った設備などの物理的な環境が理想ですが、何より安心、安全に生活できること、子どもたちが遊びを通して仲間やルールなどの社会性を身につけていくことが一番の目的だと思います。そのために現在の環境を生かしながら子どもたち一人ひとりと向き合い、適切な対応や指導を行い、成長を促し見守っていきたいと思います。